

2017年12月11日

東急不動産株式会社

～ LIFE STORY TOWN 世田谷中町プロジェクト ～

災害時における被災住民の避難に関する「相互応援協定」を締結

グランクレール世田谷中町 グランクレールシリーズで3住宅目の登録

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:大隈 郁仁)と世田谷区は、災害時における被災住民の避難に関する相互応援協定を締結し、東急不動産ホールディングスグループの株式会社東急イーライフデザインにて運営を行っている、シニア住宅の「グランクレール世田谷中町」を福祉避難所として登録したことをお知らせいたします。

本協定は、区の「福祉避難所の量的拡充」という考えに、東急不動産が応える形で締結することとなりました。東急不動産では既に「グランクレール成城」および「グランクレール馬事公苑」においても登録済みであり、今後も協力できることを模索してまいりたいと考えております。

■世田谷区との協定内容

- ・大災害の発生時に、施設の提供、被災住民の避難、災害時用備蓄物資の提供、業務を遂行する為の要員派遣等の相互応援を両者で行い、もって被災住民の生命の安全と生活基盤の確保に寄与することを目的とする。
- ・福祉避難所として被災住民を受け入れる場合は、世田谷区に対して、食料品、生活物資等の提供の要請、避難所運営に必要な物品の提供、救援活動及び受入者の介護のための要員派遣の要請をすることができる。
- ・その他災害対策上必要とされる事項に関しては、相互信頼に基づき両者で要請に応えるものとする。受入れする被災住民は、原則として介護の必要な高齢者及び障害者等とする。



(左下より時計回り)
吉野 一樹(東急イーライフデザイン 代表取締役社長)
西田 隆行(東急イーライフデザイン 運営推進室 室長)
瓜生 律子(世田谷区 高齢福祉部長)
小室 明義(東急不動産 ウェルネス事業ユニット
ヘルスケア事業本部 執行役員本部長)
宮崎 健二(世田谷区 副区長)

■グランクレール世田谷中町での防災に関する取り組み

グランクレール世田谷中町は、「LIFE STORY TOWN」のコンセプトに基づき、「世代循環型の街づくり」を目指し、取り組んでいる「世田谷中町プロジェクト」内のシニア住宅です。世田谷中町プロジェクトでは、多世代が安心して暮らすことができ、多世代で交流できる街として、様々な取り組みを行っています。その一つとしてグランクレール世田谷中町において建物内の居住者だけでなく、地域の方にも安心して暮していただけるよう防災に関する取り組みを実施しています。

災害時には、多世代交流拠点であるコミュニティサロン周辺にマンホールトイレやかまどベンチを設置し地域に開放するなど交流の面だけでなく、防災面においても地域の拠点となれるよう防災対策を行っております。

■物件概要

【グランクレール世田谷中町】

所在地 東京都世田谷区中町5-9-9
交通 東急田園都市線「用賀」駅 徒歩15分
居室数 251室(シニア176室・ケア75室)
竣工 2017年 2月



グランクレール世田谷中町

案内図



【参考】

・グランクレール馬事公苑

所在地 東京都世田谷区上用賀1-22-23
交通 東急田園都市線「用賀」駅 徒歩13分
居室数 139室
竣工 2006年 4月

・グランクレール成城

所在地 東京都世田谷区成城8-20-1
交通 小田急小田原線「成城学園前」駅 徒歩13分
居室数 112室(シニア79室・ケア33室)
竣工 2010年 2月